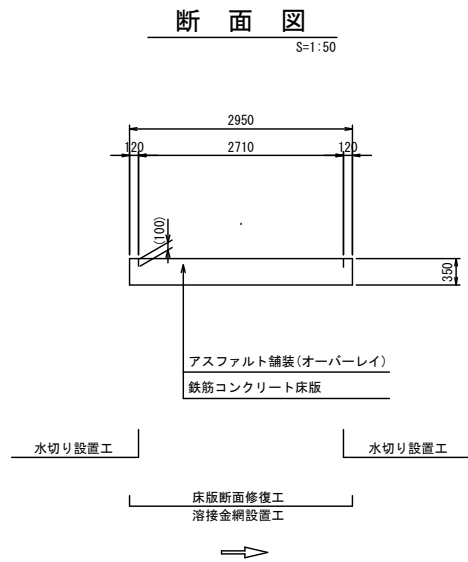
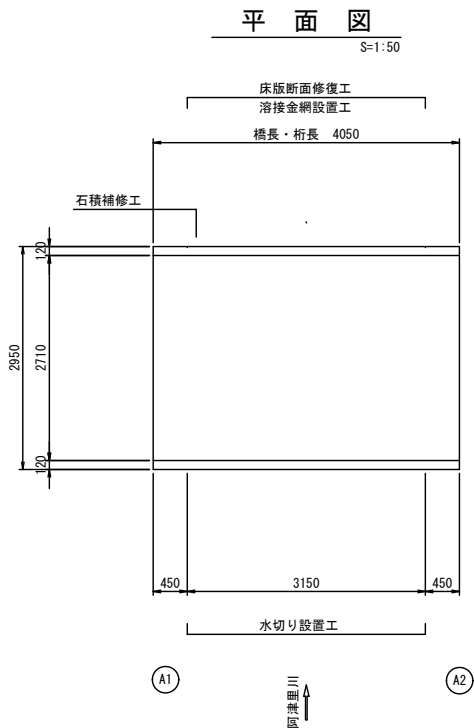
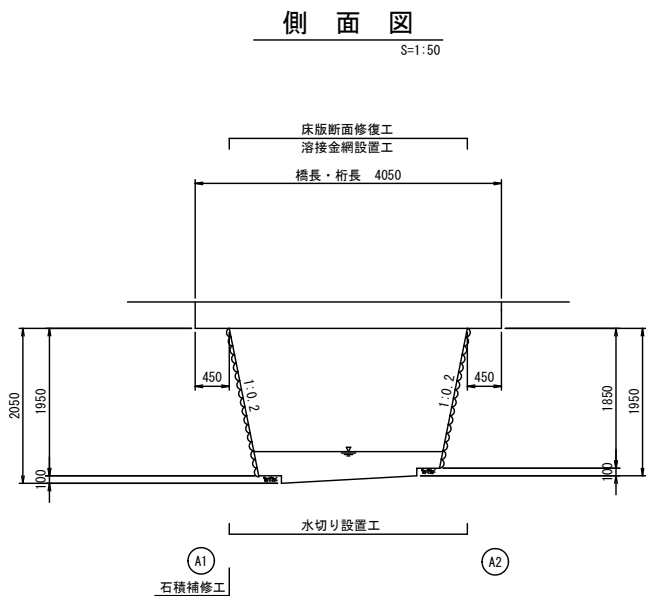
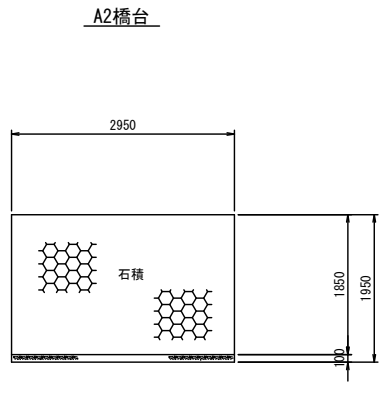
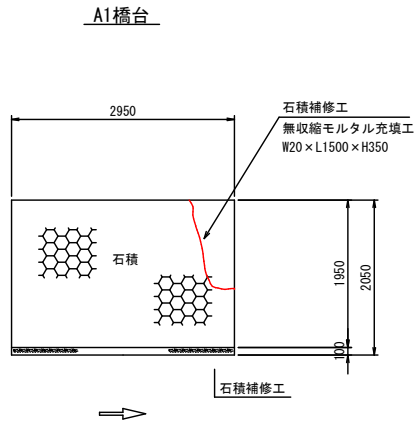


無名橋49 修繕工一般図



正面図
S=1:50



設計条件

橋	橋 格	—
	上部工形式	単純RC床版桁
	橋 長	4.050m
	桁 長	4.050m
	支 間 長	—
	全 幅 員	2.950m
幅	有効幅員	2.710m
	斜 角	90° 00' 00"
	床 版	鉄筋コンクリート床版
	舗 装	アスファルト舗装(オーバーレイ)
支	支 承	—
	橋 台	重力式(石積)
	橋 脚	—
基	基 礎	直接基礎

- 注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
- 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
- 3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

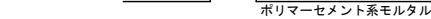
【無名橋49(市道越賀御座2号線, 志摩市志摩町, 越賀地内)】

工 事 名	令和3年度 第2A1 志003号 道路メンテナンス事業 無名橋49 橋梁修繕工事			
図 面 名	修 繕 工 一 般 図			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	2	葉之内 1
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

S=1 : 50



S=1:50



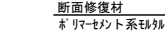
- ※ 断面修復については修復箇所周囲にコンクリートカッターを使用すること。
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面損傷箇所の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督官と協議をすること。
- ※ 鉄筋防錆処理について
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いをし下地及び鉄筋を清掃する。
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

S=1:50

下面



橋軸方向断面 S=1:6



※アンカーは、丸鉄線溶接金網だけでなく、既設鉄筋(橋軸方向)にも出来る限り結束すること。

S=1:4



作業手順

- 1) 劣化部を除去する。
- 2) アンカーを設置する。
- 3) 既設鉄筋の防錆処理を行う。
- 4) 劣化部の断面修復を行う。(既設鉄筋下面まで)
- 5) 剥落防止用に丸鉄線溶接金網を設置する。
- 6) 残りの劣化部の断面修復を行う。

注記 1：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

2：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

3：各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をもたう施工は行わないこと。

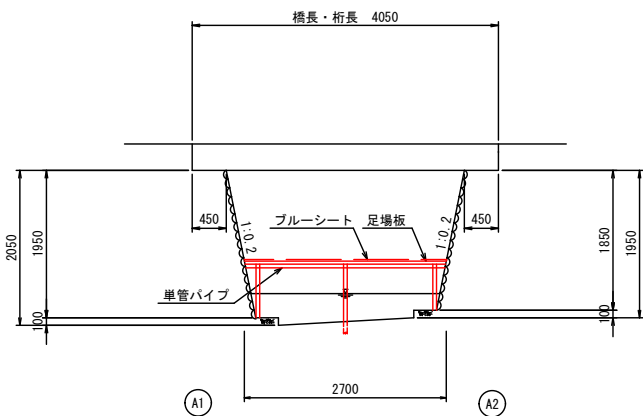
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

工 事 名	令和3年度 第2A1志003号 道路メンテナンス事業 無名橋49 橋梁修繕工事		
図 面 名	修繕工詳細図		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	2 葉之内 2
会 社 名			
事務所名	志 摩 市		

仮設足場工 参考図

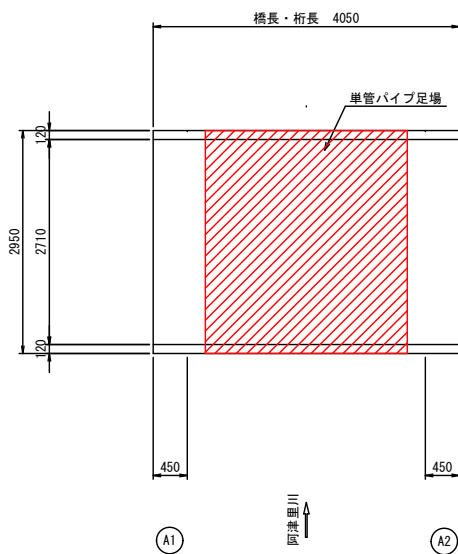
側 面 図

S=1:50



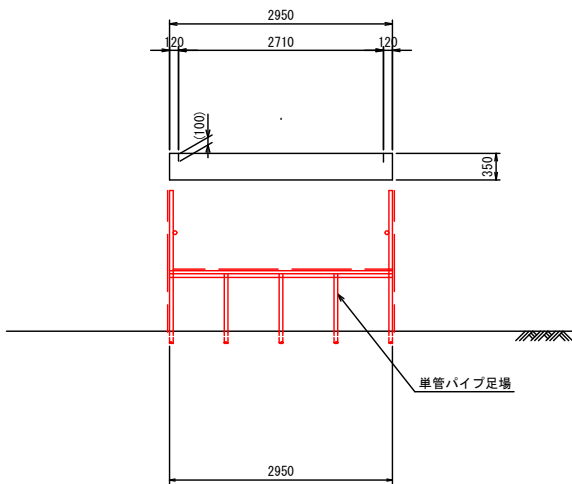
平 面 図

S=1:50



断 面 図

S=1:50



【無名橋49(市道越賀御座2号線, 志摩市志摩町, 越賀地内)】

工 事 名	令和3年度 第2A1 志003号 道路メンテナンス事業 無名橋49 橋梁修繕工事		
図 面 名	仮設足場工 参考図		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	- 葉之内 -
会 社 名			
事務所名	志 摩 市		